



Title	研究会報・編集後記
Citation	独語独文学研究年報, 36, 102-105
Issue Date	2010-03
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/42884
Type	bulletin (other)
File Information	NJGS36_006.pdf



[Instructions for use](#)

研究会報

講義題目（２００９年度）

[学部]

ドイツ語学概論	ドイツ語の構造とその背景 09	清水	誠
ドイツ語学	ドイツ語学の基礎知識 09	清水	誠
ドイツ語学演習 I	ドイツ語学文献読解 I : 09	清水	誠
ドイツ語学演習 I	ドイツ語の歴史とゲルマン語	清水	誠
ドイツ語学演習 II	ドイツ語学文献読解 II : 09	清水	誠
ドイツ文学史概説	文学史記述の諸問題	山田	貞三
独文学史概説 II	近代以降のドイツ文学	山田	貞三
ドイツ文学演習 I	ドイツ文学入門 09	山田	貞三
ドイツ文学演習 II	比較文化論 09	山田	貞三
ドイツ文学演習 I	掌編・短編を読む	藤本	純子
ドイツ語学	Märchen – alt und neu I	Christine Kühn	
ドイツ語学	Fachsprachen II : Medium Zeitung	Christine Kühn	
ドイツ語学演習 I	DaF – Deutsch als Fremdkommunikation II	Christine Kühn	
ドイツ語学演習 II	Fachsprachen I : Medium Fernsehen	Christine Kühn	
ドイツ文学演習 I	DaF – Deutsch als Fremdkommunikation I	Christine Kühn	
ドイツ文学演習 II	Märchen – alt und neu II	Christine Kühn	
ドイツ文学	Leben in Deutschland in Text und Bild	Gabriele Christ-Kagoshima	
ドイツ文学	Was gibt's Neues?	Gabriele Christ-Kagoshima	

[大学院]

ドイツ語学ゲルマン語学特別演習	ドイツ語学の諸問題 09	清水	誠
ドイツ語学ゲルマン語学特別演習	ゲルマン語学の諸問題 09	清水	誠
言語分析論特別演習	歴史比較言語学研究 09	清水	誠
博士論文指導特殊演習		清水	誠
ドイツ文学特別演習	Germanistik und Kulturwissenschaft 09 – 1	山田	貞三
ドイツ文学特別演習	Germanistik und Kulturwissenschaft 09 – 2	山田	貞三
博士論文指導特殊演習		山田	貞三
ドイツ語ドイツ文学特殊講義	Landeskunde interkulturell I	Christine Kühn	
ドイツ語ドイツ文学特殊講義	Landeskunde interkulturell II	Christine Kühn	

研究会行事記録

1. 2009年2月16日、北海道大学文学部 W205号室（新棟2階）において2008年度修士論文・卒業論文発表会が開かれた。
2. 2009年7月3日、北海道大学文学部 W205号室において2009年度総会が開かれ、幹事選出等が行われた。

〈留学関係〉

2009年10月、西出佳代氏がルクセンブルク大学に留学のため出発した。

〈受賞関係〉

2008年3月、村岡千紘氏が2007年度「独検」1級第一位の成績で表彰された。

2009年5月、熊坂亮氏が第49回ドイツ語学文学振興会奨励賞を受賞した。

授賞対象となった論文の題目は、「Zur „zum-Konstruktion“ im Zürichdeutschen」（『ドイツ文学』137号, „Neue Beiträge zur Germanistik“, Band 7/Heft1, 2008 所収）である。

2008年度 独語独文関係の論文題目

卒業論文

堀下 武 範： 「シャミッソーの『影をなくした男』—ペーター・シュレミールと影について—」

二 瓶 知 世： 「ミヒャエル・エンデとファンタジー」

北海道大学ドイツ語学・文学研究会会則

1. 本会は北海道大学ドイツ語学・文学研究会と称する。
2. 本会はドイツ語学・文学の発展に寄与することを目的とする。
3. 本会は上の目的達成のため、下記の事業を行なう。
 - 1) 機関誌「独語独文学研究年報」を毎年1回発行する。
 - 2) 合評会、研究会、講演会等を随時行なう。
4. 本会会員は北海道大学大学院文学研究科・独語独文学関係の教官・院生ならびにその趣旨に賛同するものによって構成される。

本会会員は上の活動の遂行のため所定の会費を払う。

本会は1名の会長と若干名の幹事をおく。幹事は会計および編集委員を兼任する。

本会の会計年度は毎年4月1日に始まり3月31日をもって終わる。

本会の事務局は北海道大学大学院文学研究科におく。

本会に賛助会員をおく。

☆ 論文執筆要項

1. 論文審査
 - 1) 本誌は論文の掲載に関して審査を行う。
 - 2) 論文の採否は審査委員が決定する。その際、原稿への加筆、修正などを求めることがある。採否の結果は、編集委員会が投稿者に通知する。
 - 3) 審査委員は、編集委員会から委嘱を受けた本会所属の教員数名がその任にあたる。
2. 原稿執筆規定

執筆申し込み : 執筆希望者は、各年度の6月に行われる総会の前日までに、その旨を編集委員会に申請すること。

ページ数 : 20ページ程度。1ページの文字数・行数は任意。ただし35～37行程度が望ましい。

原稿の大きさ : A4。

論文題目 : 原稿1ページ目の最上段中央に、太字またはゴシックで多少大きめに記載する。二行にわたっても構わない。また、別紙にドイツ語または他の欧文による題目を記載する。

注釈・文献 : 注釈は脚注または奥付けとする。注釈番号はアラビア数字で右括弧付き。

執筆者氏名 : 原稿1ページ目の3行目(題目との間に1行あけること)、太字またはゴシックで右端に記載する。

身分の明記 : 原稿末に丸括弧つきで、右寄りで所属機関・職名を明記する。

締め切り : 10月31日。

会 員 名 簿

※青柳謙二	阿部和夫	石原次郎	岩井洋
岩田聡	※植木迪子	梅津真	○岡崎朝美
岡田江里	川崎良江	※川島淳夫	川嶋幸子
岸川良蔵	岸本明子	北原寛子	熊坂亮
佐藤修子	佐藤俊一	塩谷幸子	清水誠
シャイフェレ馨子	神久聡	○杉浦康則	鈴木将史
高橋修	高橋希衣	田中剛	対馬晃
寺田龍男	戸松豊	○中村寿	中祢勝美
名執純子	名執基樹	西川智之	西出佳代
○野村まり子	藤本純子	前原真吾	松橋知子
三浦國泰	森田一平	山田恵子	◎山田貞三
山田善久	渡邊清美		

◎は会長

○は幹事

※は名誉賛助会員

編集後記

レフェリー制を導入して9年目となりました。掲載論文は厳正な審査を受けた論文です。ご多忙中、快くレフェリーを引き受けてくださった方々には、この場を借りて深く感謝申し上げます。

編集委員一同